

神戸大学統合研究拠点アネックス棟の落成披露、並びに、次世代バイオ医薬品製造技術研究組合 GMP施設の開所、誠におめでとうございます。このバイオ医薬品製造技術の研究開発拠点には、製薬企業のみならず、機器メーカーや化学メーカー、研究機関など、30の企業や団体の力が集結しました。まさにオールジャパン。この日本初の画期的な取組を実現した皆様に敬意を表します。

医療関連産業の活性化は、安倍政権の成長戦略の要なのです。特に、バイオ医薬品は、がんやリウマチといった多くの人々を悩ませる疾患に有効であり、私の成長戦略の柱となっている「健康長寿社会」実現の鍵といえます。

世界の医薬品の主流は「バイオ医薬品」となりつつあります。しかし、残念ながら、現時点では、日本生まれのバイオ医薬品はごくわずかというのが現実です。高品質のバイオ医薬品を安定的に製造するには、バイオテクノロジーのみならず、機器・装置、IT等に関する膨大な知見や高度な技術を総動員しなければなりません。日本は、その個々の分野の高い技術力を活かしきれていません。

その結果、医薬品の輸入超過は拡大する一方です。我が国の医療産業の国際競争力は徐々に低下しているとさえ指摘されています。

今こそ、業界のアンシャンレジームである「自前主義」から脱却する時です。世界に冠たる日本の企業や研究機関が、その垣根を越えて、互いに手と手を取り合い、日本の叡智を結集すれば、世界のバイオ医薬品製造のイノベーションの主導権を取ることができはずです。メイド・イン・ジャパンの「オープンイノベーション」を進めることが、この拠点の使命です。この拠点では、バイオ医薬品の要である、製造プロセス全体をマネジメントできる人材の育成も拠点の目的として掲げています。モノの研究開発と、それを扱うヒトの人材育成の両方を行う拠点は、世界でも、ここ神戸だけです。

皆さんの力で、この拠点から、革新的な新薬を世に送り出し、日本のみならず、全世界の難病に苦しむ患者の方々に笑顔を届ける日を楽しみにしております。

内閣総理大臣 安倍 晋三